

## 研修会報告

第72回研修会が震災の為に中止になり、準備をして頂いていた講師の方々には、早期の再企画を約束した。〔看護の基礎知識〕は94年度総会記念講演として開催し、第73回研修会では事例4題を報告した。

95年度のスタートに先立って研修会で取り上げてほしい内容についてのアンケートを実施した。希望の多かったテーマの上位5位を列挙すると、1)資料の廃棄 2)蔵書点検 3)図書室運営 4)相互強力・文献調査・文献入手(4位同数) 5)広報活動であった。資料が少なからくる相互利用への高い依存度と、空間の狭さからくる資料廃棄の必要度からは、病院図書室の根源的な矛盾が見てとれる。(回答65施設)

### 《第74回研修会》

日時：1995年4月26日(水)10時～16時30分  
場所：大阪府立母子保健総合医療センター  
内容：1「オンライン検索とCD-ROM検索の違い」  
2 ビデオ「看護図書館」  
3 医学の基礎知識「母子感染」  
4「看護婦の利用促進のために」

参加：会員18名 非会員3名

企画段階では交通機関の復旧が危ぶまれたが、4月中旬にJRが開通し兵庫県方面からの参加も得られ、会員の元気そうな顔を見て近況を話し合えたのが何よりの収穫だった。

### 《第4回勉強会》

日時：1995年6月28日(水)10時～16時  
場所：淀川キリスト教病院  
内容：1 文献依頼・相互貸借申込業務  
2 図書室業務に必要な資料

参加：会員のみ14名

春の初心者向け勉強会は、相互貸借業務を

取り上げることが恒例となってきた。昨年は研修会規模で行ったが、「手取り足取り塾」を可能にするには講師とのマンツーマン方式が理想的との見解で勉強会として開催した。講師は例年通り研修部が勤めた。

相互貸借業務の中で困ったことが生じた場合は、研修部員に気軽にご相談下さい。なお、勉強会で使用するテキストは、初心者のみならず中堅担当者のマニュアルとして活用して頂きたい。

### 《第75回研修会》

日時：1995年7月27日(木)10時～16時30分  
場所：兵庫県立尼崎病院  
内容：1 NACSISについて  
2 ミノルタ複写機 説明会  
3 医学の基礎知識「災害と心のケア」  
4 図書管理システム MaKLIS マクリスの紹介

参加：会員24名 非会員1名

復旧したばかりの阪神電車に乗って被災地にある研修会場に向かった。沿線には仮設住宅があり、「救護所」と書かれたテントもあった。車窓からみた風景の記憶は、「災害と心のケア」の講義を聴くことによってより現実的なものとなった。

学術情報センターについての関心の持ち方は、病院や図書室担当者によってかなりばらつきはあるだろうが、既存のパソコン端末から容易にNACSISを検索できるようになった今日を考えれば、NACSISの成立から利用の仕方までを系統だてて知ることは、担当者の必須要件ではないだろうか。

この企画のあと「学術情報センターニュース」を定期的に阪府母に送って頂けることとなった。最新のものには、学術雑誌総合目録和文編のニュースが載っている。情報の必要な方は、ご一報下さい。

(文著：徳田 雅子)